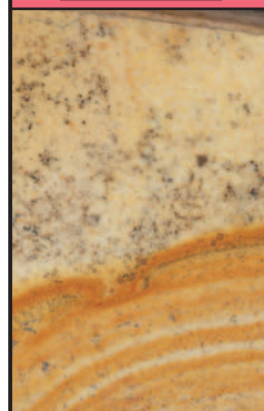


(2) 石の写真図鑑



か せい がん か ざん がん 火成岩(火山岩)



りゅうもんがん
●流紋岩



表 面：全体的には白く、オレンジ色の木の年輪模様が特ちょうです。これは、風化作用によって岩石の中の鉄分が年輪模様になったものです。手ざわりはザラザラしています。

形：角がとれた丸い形が多いです。

でき方：二酸化ケイ素(SiO_2)の多い、花こう岩と同じ性質のマグマが地表に噴出して、冷えて固まった岩石です。

天竜川での分布：茶臼山高原、奥三河高原などに分布します。



あんざんがん
●安山岩



表 面：全体は黒っぽく白いはん点があります。白いものは長石という鉱物です。表面はザラザラしています。

形：いびつな箱のような形で、長石が抜け落ちたくぼみがあり、凹凸になっています。

でき方：二酸化ケイ素(SiO_2)のやや多いマグマが、地表に噴出したり、地表に近いところで冷えて固まった岩石です。

天竜川での分布：奥三河高原などに分布します。



げんぶがん
●玄武岩



表 面：全体はガラスや細かい結晶でできた黒っぽい岩石です。表面はザラザラしています。はん点は長石、黒っぽいものは、かんらん石や輝石という鉱物です。

形：いびつな箱のような形で、表面に凹凸がありません。火山ガスがぬけてできた穴が空いているものもあります。

でき方：二酸化ケイ素(SiO_2)の少ないマグマが、地表に噴出したり、地表に近いところで冷えて固まった岩石です。

天竜川での分布：奥三河高原などに分布します。